

整理番号 9701894

発送番号 097238

発送日 平成14年 4月 2日 1 / 3

拒絶理由通知書



特許出願の番号 平成 9年 特許願 第181132号
起案日 平成14年 3月25日
特許庁審査官 田代 吉成 9448 4R00
特許出願人代理人 伊東 忠彦 様
適用条文 第29条第2項、第37条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

- 1) この出願は、下記の点で特許法第37条に規定する要件を満たしていない。
- 2) この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

理由1)

請求項1乃至30

備考

請求項1乃至16に記載の発明と請求項17乃至30に記載の発明とは、「インターポーザ」という構成を備えるか否かの点で発明の主要部が互いに異なり、かつ、発明が解決しようとする課題についても、本願の発明の詳細な説明の記載(段落【0125】)からみて、インターポーザとしてTABテープを用いることにより半導体装置の構成部品として安価に供給するという課題を備えるか否かの点で互いに異なるものであるから、両者は、特許法第37条各号において規定する関係に該当するものとは認められない。

提出期限

6/3 (日)

理由2)

請求項1乃至7、9乃至10、13

引用文献1

備考

図1乃至図3及びその関連箇所。

引用文献1に記載の発明において、電極板を加工するに当たり、単に塑性加工を採用することは、周知技術の単なる適用に過ぎないものと認められる。

請求項8

引用文献1及び引用文献2

備考

引用文献1に記載の発明において、放熱部材を採用することは、周知技術（その根拠については、例えば、引用文献2等を参照のこと。）の単なる適用に過ぎないものと認められる。

請求項11

引用文献1及び引用文献2

備考

引用文献1に記載の発明において、フリップチップ接合法を採用することは、周知技術（その根拠については、例えば、引用文献2等を参照のこと。）の単なる適用に過ぎないものと認められる。

請求項12

引用文献1、引用文献2及び引用文献3

備考

チップ搭載工程を実施する前に、半導体素子を放熱部材上に位置決めして取り付ける工程を採用することは、引用文献3の記載（図2及びその関連箇所）に基づき当業者であれば適宜になし得るものと認められる。

請求項14

引用文献1及び引用文献2

備考

引用文献1に記載の発明において、ソケットを採用することは、慣用技術の単なる適用に過ぎない。

請求項15

引用文献1、引用文献2及び引用文献4

備考

突出端子としてバンプを採用することは、引用文献4の記載（図1乃至図5及びその関連箇所）に基づき当業者であれば適宜になし得るものと認められる。

この出願は特許法第37条の規定に違反しているので、請求項1乃至16以外の請求項に係る発明については同法第37条以外の要件についての審査を行って

いない。

引用文献等一覧

1. 特開平9-45818号公報
2. 特開平9-17827号公報
3. 特開平8-97315号公報
4. 特開平8-97312号公報

先行技術文献調査の記録

・調査した分野 IPC第7版 H01L23/28

この先行技術文献調査の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

問い合わせ先

特許審査第三部（電子素材加工）

TEL 03(3581)1101 x. 3470

FAX 03(3580)6905
